



入学式



オープンキャンパス2019



岐阜高専

National Institute
of
Technology,
Gifu College

だより

第136号
2019.9.30

独立行政法人 国立高等専門学校機構
岐阜工業高等専門学校

〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑 2236-2
TEL : 058-320-1211
H P : <http://www.gifu-nct.ac.jp/>

CONTENTS

- 2 校長所感
- 3 教務主事・学生主事所感
- 4 新入生紹介
- 5 新入生紹介 留学生・専攻科生
研究室紹介
- 6 学級担任紹介
- 9 東海地区高専体育大会結果
- 10 全国高専体育大会結果
平成30年度学業成績優秀者賞表彰
- 11 公開講座・入試説明会
- 12 新任教職員紹介
教員・事務職員等人事異動
- 14 校外実習報告
- 15 海外インターンシップ
- 16 校内ニュース
- 18 公開講座紹介
- 19 学寮ニュース
- 20 クラブ紹介・同好会紹介
高専ロボコン出場チーム紹介



全国高専体育大会



公開講座

校長所感



岐阜高専状況

校長 伊藤 義人

平成28年4月に、岐阜高専の校長として赴任して4年目に入っています。高専の良いところと改善の必要なところもよく分かるようになってきました。岐阜高専だけの努力で改善できることは、教職員の方々と一緒になって実行しているつもりですが、時代に合致した国立高専の改革や国立高専機構のガバナンスについては、もどかしく思うことがしばしばです。

最近の岐阜高専の状況を、項目ごとに以下に示します。

グローバルエンジニア育成事業

着任して直ぐに、高専機構からのグローバル高専の認定を受けて、この3年間、岐阜高専と第3ブロックの国際化を進めてきました。この間、ベトナム、マレーシア、中国の大学との交流協定も追加して（合計8ヶ国14大学・短大）、岐阜高専主催で、交流協定校との国際セミナーを岐阜市で2回開催しました。学生の相互交流も積極的に実施していますが、昨年から始めた10日間の米国シアトルへの国際インターンシップは、今年も実施します。

グローバル高専の指定制度は3年間で終了し、今年度からはグローバルエンジニア育成事業として、「基礎力養成」と「高度育成」の2つの分類で公募が高専機構から出ました。文科省から総額3.5億円の予算が付いています。岐阜高専は、2つの分類の両方に応募しています。

教育体制整備

高専機構全体の人件費比率が高くなっており、新たな教育体制の整備方針への対応が高専機構から各高専に求められていることは、前回報告しました。結局、当初案の半分くらいの1学科1名の教員採用抑制をして、第4期中期目標中期計画終了時に、人件費比率を下げることになりました。高専教育においては、学生の手厚い指導が特長ですが、カリキュラム改変を含めてどのように対応するか各学科で検討中です。

大学との連携教育プログラム

平成30年度に、豊橋技術科学大学との連携教育プログラムが採択され、準備のための予算が付きました。高専の専攻科と豊橋技術科学大学の両方に2年間所属して、専攻科の高度化をはかるプログラムです。平成31年度（令和元年）から、実施予定でしたが、文科省からのガイドラインが遅れたこともあり、令和2年度から実施することになりました。本科を卒業してからの大学への編入制度は、そのままです。連携教育プログラムは両方の学生定員を使うため、対象学生は毎年若干名の予定です。高専と大学の両方に所属し、両者のよい所を取り入れ、かつ両方の組織が相互に刺激し合って、視野の広い進取の気性を持った学生を育てられればと思います。学生が多様な選択肢を持つことができるので、この制度を今後大きく育てたいと思います。

大学教育再生加速プログラム（教育 AP 事業）

「高専教育のアクティブ・ラーニングへの転換と学修成果の可視化・定量化による見える化」（複合型）というテーマで、文科省から直接予算をいただいています。今年度は、6年間の教育 AP 事業の最終年になります。教室の情報機器の整備なども進めています。これを資産化して、プログラム終了後の教育にも行かせるように、最終年をがんばりたいと思います。

施設整備事業

以下の4つの施設整備の予算がほぼ同時に付き、施設整備担当の事務職員は大変な状況になっています。通常は、年に1つずつ予算措置されるようなものですが、いずれも必要な施設整備ですので、なんとか対応したいと思います。

- a) H29年度補正
- b) H30、R1年度概算
- c) R1年度概算
- d) R1年度概算

寮の改修
建築学科建物改修
インフラ改修Ⅱ
（改修Ⅰは平成30年度に実施済み）
図書館改修・B寮の改修

全国高等専門学校体育大会（高専体育大会）のあり方

今年も高専体育大会の予選に相当する東海地区大会が開催されました。岐阜高専は、バレーボールとソフトテニスを担当となり、7月に2週にわたって土曜日と日曜日に実施されました。働き方改革に関連して、高専機構から、この高専体育大会の見直しを、各高専に要請があり、今年中にどうするか機構理事長は方針を出すと言われています。

元々は、高専ができたときに全国高等学校体育連盟（高体連）が、加盟を認めず、やむを得ず高専体育大会を始めた経緯がありました。現在は、3年生までは高体連に参加でき、4年生以上は大学生のための全日本学生選手権（インカレ）などに参加でき、これらは県内で予選ができるので、教員帯同の手間や旅費は格段に小さくなるという発想のようです。岐阜高専の教員に、高専体育大会のあり方を尋ねたところ、意見は大きく分かれています。

実際に、高専体育大会に参加してみると、1年生から5年生まで参加できるということで、高専の特性を活かしたクラブ活動の成果が出ています。50年を越える歴史を持ち、学生にとって身近な大会として高専体育大会は位置づけられており、その意義は大きいようです。教職員の働き方改革を実現し、かつ、高専体育大会の良さを残す方策を模索する必要があります。

そのためには、専門の審判を依頼して試合を外部の競技場で行うのでは無く、各高専のキャンパスで行うことや、外部コーチの積極的な活用など、今後検討する必要があります。

監事監査

平成31年1月31日から2日間にわたって、国立高専機構の伊佐治監事から監事監査を受けました。最初に、私の方から87枚のスライドを使って、岐阜高専の現状と課題を説明しました。入試志願倍率が向上していることや多くのプロジェクトをここ数年実施していることなど、高く評価されました。ただし、若手教員との面談をされて、監事からは、若手教員が種々のことで忙しく、疲弊していることは分かるがもっと前向きにならないといけないという指摘を受けました。

校長のリーダーシップについての以下のコメントいただきました。

「伊藤校長は平成28年度着任の3年目である。最初に行ったのが、学生寮における上級生の下級生に対する生活指導の適正化であった。寮生活が、在寮生から見て、また保護者など外部から見ても明らかに変わった。これは、新任校長への期待感を高める効果をもったと思われる。その後も、新規プロジェクトの獲得、全国高専フォーラムや全国高専デザコンの開催などによって本校の存在価値を高めるとともに、内部に活気を生んでいる。これらは組織的に遂行されており、校長の下でのガバナンスが機能していることが見て取れる。エフォートを自己設定する教員評価や教員全員面談を導入したことが、組織力とガバナンスの強化に繋がったと思われる。その成果は、受験倍率の向上となって現れている。伊藤校長が4年目以降も、本校をさらに活性化させ、存在価値を高めるためにリーダーシップを発揮することは確信できる。ただし、若手教員が疲弊感をもっていることも間違いはない。彼らの育成とともに、業務の削減・効率化にも強力なリーダーシップを発揮していただきたい。」

教務主事・学生主事所感



「20年後の高等教育グランドデザイン答申」に思うこと

副校長（教務主事） 和田 清

令和元年に入り、皆さんの出身中学校訪問やオープンキャンパス2019のイベントが無事終了しました。昨年、今後20年を見据えた「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」の答申が中教審から示されました。皆さんが30代後半から40代になって社会で活躍している時期です。高専は大学と同じ高等教育機関ですので、高専の教育改革を実現する方向性について少し考えてみたいと思います。

本校は1963年創設、今年の「第55回高専祭」からもわかるように60年近い歴史があります。全国の高専卒業生約50万人が、わが国の経済発展に果たした役割は大きく、その卒業生のレガシーが現在の高専求人倍率の高さに表れています。21世紀に入ってからグローバル化の進展とともに、15歳人口減少、理科離れの進行などが顕在化しています。高専は、早期専門教育、理論だけでなく実験・実習を多く取り入れて、各種コンテストや卒業研究などを通して創造性をもった技術者育成を特色としています。

答申のキーワードの一つは「多様性」であり、学生やカリキュラムのみならず、教員や高等教育機関そのものも多様であるという提言であり、高専の設立趣旨である「教育の複線化」に繋がると考えます。また、多様になれば中身が問題となり、「教育の質



「安全・健全な学生生活を営む」

学生主事 山本 浩貴

平成30年度より学生主事を仰せつかり、早くも2回目の夏を迎えています。平成から令和へと変わり、今年度から学生会議の指導目標も「安全・健全な学生生活を営む」に一新しました。また、この目標を日々積み重ねるにあたっては、「自分で自分を監督できる人となるように」というサブ目標も掲げています。これらは、当たり前のような目標ではありますが、しかし、日々安全で健全な生活を送り続けることは、そんなに簡単なことではないかもしれません。

はじめに、「安全」について考えてみます。安全な生活を毎日送るためには、規則・規律を守ることが最も簡単な方法であると思います。言葉の意味を調べてみると、規則＝決められたもの・定められたものとなっており、規律＝やるべき事・やらないといけない事という意味があるようです。一般的には、交通規則・校則・社会ルール・モラル・マナーと呼ばれているものがすぐに思い浮かびます。これらの規則や規律について元々の考え方は、常識的な判断や行動を基本として作られていると思われれます。従って、多くの規則を詳細に覚えなくても、常識的判断や行動がある程度間違わずにできていれば、安全に生活できるということが言えるでしょう。

次に、「健全」について考えてみます。健全な生活を毎日送るとは、規則正しいリズムで生活を繰り返すことが大切な条件にな

保証」という必要性を答申は強く説いています。Society 5.0によりAI等の先端技術が教育にもたらすものは、「学び」のあり方の変革です。スタディ・ログ等の把握・分析により学習計画や学習コンテンツを提示し、そのログの蓄積によって精度を高めた学習支援などができます。このようになれば、個人の進捗や能力、関心に応じて基礎学力を確実に定着させながら、他者と協働しつつ自ら考え抜く自立した学びに繋がります。

本校は、文科省の教育AP事業によるICT環境整備や学修支援コンテンツの開発など、学外からでもLMS (Moodle) を利用して自学自習できる環境が整っています。高校では文理分断の改善が問われており、高専も社会ニーズや国際トレンド等を背景に、統計・確率やプログラミング、データマイニングなど、教育におけるSTEAM (Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics) やデザイン思考などの教育の提供が重要視されています。今後、産学官連携による実践的教育と専門人材育成が求められます。さらに、現在、高専機構のグローバルエンジニア育成事業に低学年と高学年（専攻科を含む）の2つに応募しています。海外研修や留学生などとの協働により、英語をツールとして、皆さんの気づき、意識・態度・行動の変化を通して、主体的に課題発見・解決能力を身につけたエンジニアを目指そうとするものです。高専で過ごす際のリテラシーとコンピテンシーの「伸びしろ」を期待しています。

答申には、大学編入学などの流動性を高めて、より多様なキャリアパスを実現することも提言されています。高専で学ぶ5年あるいは7年間は、皆さんの長い人生の入口に過ぎません。皆さんの将来に向けたキャリアパスの実現を支援しますので、各自のオアシスで休息しながら、皆さんも自己研鑽し、高専で過ごす学生時代を財産にしてください。

ると考えられます。一般的には、狭義な意味で食事・睡眠・運動などの生活習慣を、一定リズムでバランス良く繰り返すことが思いつきます。広義な視点から考えますと、例えばスポーツの場面では、数々の名選手が「ルーティン」と呼ばれる「決まった手順」・「お決まりの所作」・「日課」など、毎回決まって同じ動作や行動を繰り返すことが、成功の秘訣として度々話題になります。この理由としては、1. 同じ行動をすることで、大事なプレー一つ一つに対し、安心して取り組めるメンタルの強化に繋がるため。2. 同じ行動をすることで、プレーの精度を上げることができ、スキルの向上に繋がるため。3. ルーティンを繰り返す中で、如何なることにも応用して、自分なりの成功の秘訣となる定跡を編み出すことに繋がるため、などの意味があるようです。学生生活についても、同じことが言えます。毎日を規則正しく同じ行動を繰り返すことで、やがて時間に余裕ができ、精神的にも安定した状態になります。すると次には、自分を向上させるために新たな目標を設定し、ついにはその目標を達成させてしまうということですね。

最後に、「自分で自分を監督できる人となるように」について考えてみます。勿論、今年度の指導目標を自己管理によって遂行して欲しいという意味ですが、更には「自立」することで学生としての「人間力」を高めて欲しいという願いがあります。人間力を高めるには、学力成績や部活・コンテストの競技成績とは異なり、人としての「品格」・「礼節」・「所作」を具えることが肝要ではないかと感じています。これらの言葉の意味は、実は幼い頃から躰として学んできた、気配り・思いやり・弁え・食べ方・話し方・聞き方・行動の仕方・礼儀作法・感謝の気持ち・節度ある態度・仕草・服装・姿勢・立ち居振る舞い方、などになります。人格の形成には欠かせない心構えのことを言うのでしょうか、その様な心構えを持って学生生活を送ることで、人間力を高めることが可能となるのではないのでしょうか。

新入生紹介

岐阜高専に入学して

機械工学科 第1学年 関口 敬弥

私は入学当初、クラスにうまく馴染んで友達を作れるだろうか、授業についていけるだろうかと不安でした。しかし、1週間もすればクラスが和んで、部活動なども通して友人ができました。授業は1コマ90分と長いので慣れるのに2週間かかりましたが、先生方も丁寧に教えてくださり、分からなければ友達に聞けるので、1ヵ月もすると不安は全くなくなりました。

それぞれが具体的な目標を持っているので、部活動や勉強を頑張ることができ、時に笑い合いながら、時にぶつかり合いながら、自分の目指すものに向かって突き進める、そんなクラスだと私は思います。自由度が高い分、責任も大きい、そんな岐阜高専で様々な経験を積みたいと思います。

岐阜高専に入学して

電気情報工学科 第1学年 朴 聡花

入学当初は不安と恐怖で心を開くことができず、周りと馴染むことができませんでした。似たような気持ちを抱えた人は多かったと思います。新しい環境に慣れず実際に体調を崩してしまったこともありましたが、今では通学や生活に慣れ、学校へ行くのが楽しみです。90分授業にもすっかり慣れ、分からなければ周りに頼り、困っている仲間がいれば助けてあげるよう努めています。家庭学習を日々継続する程にはまだ習慣づけられていませんが、将来苦労しないためにも積み重ねていきたいです。私は、1Eには個性的な人が多いという印象を持っていますが、その一方で、全員の雰囲気似ているとも感じています。私はクラスの全員を大好きにならないといけないと本気で思っています。まだ先は長いので無理しない程度に楽しんで高専生活を送り続けていきます。

岐阜高専に入学して

電子制御工学科 第1学年 塩谷 翼

私は高専に入学する前、“新しい環境になじむことができるか”“勉強についていけるか”など不安でいっぱいでした。実際に入学してみると最初のうちは周りの子とうまく話せなかったけれど、暫くすると席の近い子や同じ部活の子から徐々に話すようになって自然と友達が増えていきました。また、授業に関しては、理解しにくく難しいと感じることがありました。しかし、分からないところがあっても周りの友達がやさしく教えてくれて、自分も友達に聞かれたら教えてあげるなどしているうちに不安は消えていきました。そうした仲間関係を築くことによって今では楽しい学校生活を送ることができています。これから学年が上がるにつれてどんどん勉強が難しくなっていくと思うけれど、楽しい部活と両立させながら、一人で抱え込まずみんなで頑張っていきたいです。

岐阜高専での生活

環境都市工学科 第1学年 奥村 迅一郎

僕が高専の環境都市工学科に入学したいと思ったのは、母から勧められたからです。そして、僕もいずれは公務員として働き市民、国民に貢献できる人間になりたいと思って高専に入学しました。高専入学当初は、初めての仲間とうまくやっていけるのかと不安でした。しかし、球技大会を境にしてクラスの団結力が高まり、どんどん生活に慣れていき、楽しくなりました。また、初めての90分授業で、中学よりも内容が難しく、とまどいを感じていました。しかし、先生が丁寧に教えてくださったり、周りの子が教えてくれたりして安心しました。高専は他の高校に比べて、自由な校風が特徴ですが、学生に責任が与えられていることを実感しました。そのため、自分のスケジュール管理を怠らず自分で時間を見つけ学習する事が大切だと感じました。これからの5年間は仲間と一緒に楽しく充実した生活を送っていきたいです。

新しい5年間

建築学科 第1学年 尾畑 賢

僕は岐阜高専に入学する前に学習面や生活面で不安を抱えていました。5年間ずっと同じクラスで過ごすとは聞いたことがなかったし、90分の授業は長すぎて慣れることができるかととても不安でした。しかし、専門の授業や新しいクラスでの生活、いろいろな行事などの楽しみなこともありました。

入学すると思ったより自由な印象を受けました。ただの自由ではなく、あらゆることを自分で考え、行動するといった自立した生活を送るという意味での自由です。ただ指示を待つだけではいけないということが分かりました。

これからの学校での生活や部活動のなかで積極的に考え、行動することを大切にしていきたいです。また、学校での生活を楽しんでいきたいと思っています。

新入生紹介 留学生・専攻科生

今年度4月から3年次機械工学科に2名の留学生が加わりました。クラスにも馴染み学習に励んでいます。4月からスタートした日本での生活のことや目標を書いてくれました。クラスが新しい仲間と共にさらに成長することを願っています。

機械工学科 第3学年 **ヒバ**

岐阜高専に編入してからもう3ヵ月ぐらい経ちました。日本に来る前にマレーシアで2年間ぐらい日本語を勉強しましたが、まだ上手ではないです。実際に、授業がよくわからなかったし、日本人との会話がうまくできなくて、大変でした。その時、私はとても悲しくて、勉強のことも心配で、気が重かったです。しかし、担任先生や先輩方や新しい友達がいつも私を助けてくれ、高専の生活にもどんどん慣れてきました。これからも、たくさんの友達を作って、勉強のことも日本での生活も楽しめるように、頑張ります。

機械工学科 第3学年 **ベック**

こんにちは。モンゴルから来ました。日本に初めて来ました。日本に来る前に、日本人は恥ずかしがり屋が多いので、あまり話しかけてくれないと聞いていました。実際には、クラスの中にそのような学生もいますが、クラスメートの多くが親切に接し、話しかけてくれています。先生方もびっくりするほど優しいです。今は、日本語の能力をもっと高めることと専門の授業内容をよく理解するように頑張っています。



専攻科に入学して

先端融合開発専攻 1年次 **福井 悠斗**

私は本科から入学（推薦受験）のため、学習環境も人間関係にも大きな変化はなく、本科在学時と同様に平穏な日々を過ごしています。ここは初めからクラスのみならず仲が良かったため、とても過ごしやすいです。現在は特別研究のテーマとして深層学習を用いた単純X線画像からの肺野領域における複合疾患の識別分類を目標としています。また大学院への編入のため特に数学の学習に励んでいます。

同級生達が社会に出て一人前に働き、または大学編入をして新しい環境で頑張っている姿に不安や焦りがありますが、専攻科は環境変化の対応への時間が必要ないこと、そして慣れ親しんだ学習環境を利用して研究や勉強に集中できるアドバンテージがあります。ここで同級生達に引けを取らないように、今出来る事をしっかり考え、全力で行動していきたいと思います。

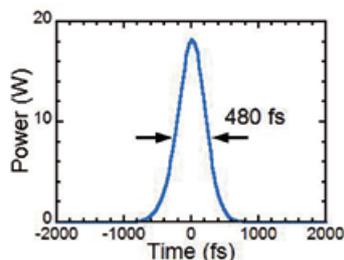
研究室紹介

超短パルス光制御

電気情報工学科 **白木 英二**

白木研究室のテーマは、光ファイバー型の全光制御デバイスの開発です。特に、光の持続時間が100 fs（フェムト秒、 $1\text{ fs}=10^{-15}\text{ 秒}$ ）程度と非常に短い、超短パルス光（下図）を制御することを目的としています。

全光制御には、超短パルス光によって光ファイバーの屈折率がわずかに変化することを利用します。ここに別の光があたると屈折率変化の影響を受け、光の位相変化を引き起こします。本研究室では、この相互作用と干渉を利用した光ファイバー型の全光スイッチング技術の開発に成功しています。超短パルス光を超短パルス光で制御するため超高速な光制御が可能です。このような光ファイバーやレーザーを用いた信号処理・レーザー加工・光計測の研究を通して、電気や通信、光量子エレクトロニクス分野で活躍できる人材の育成を目指しています。

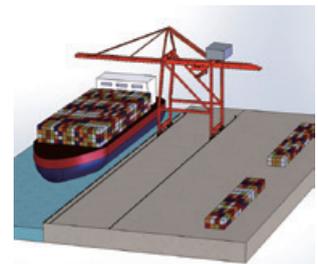


機械・環境系設計工学研究室

機械工学科 **高橋 憲吾**

コンテナターミナルにおいてコンテナ荷役に活用されているガントリークレーンは、機体の表面積が大きく屋外岸壁に設置されるため風の影響を強く受けます。時より強風により操縦者の意図に反して走行し始めてしまう逸走事故が発生し問題となっています。このような事故を未然に防ぐためには、従来の主として経験等に基づく対処や指針に加えて、動的な理論解析に基づくガントリークレーンの耐風設計指針の確立が重要です。

本研究室では、ガントリークレーンの車輪とレールの接触に関する実験解析や、コンテナターミナルにおける風況を踏まえたガントリークレーンの逸走に関する動的なシミュレーション解析に基づき、ガントリークレーンの耐風設計や万一逸走した後の管理運用の指針の確立を目指しています。



学級担任紹介 (第1学年)

機械工学科 第1学年担任 久保田 圭司



- 担当科目** 社会 (今年度は政治経済、倫理)
- 趣味** 音楽鑑賞、水泳、旧街道を歩く
- 担任としての抱負、その他**

8年間のインターバルを置いて担任業務に復帰しました。学生達には3月のオリエンテーションの際から、まず体調を整えて登校して学校のプログラムを消化すること、クラスを最初の拠点としながらクラス以外に自分の拠点となる手段を見つけて校内に自分の居場所を複数確保することを推奨しています。様々な地域から集まったクラスメイトは5年の間に徐々に絆を強めていきます。半年が経ち高専生活にも慣れてきたと思われるこの頃ですが、目の前の課題を今後も乗り越えていってほしいと思います。

電気情報工学科 第1学年担任 堅田 陽子



- 担当科目** 国語
- 趣味** 音楽鑑賞 (一番好きなのはスピッツ)
- 担任としての抱負、その他**

1年電気情報工学科はとても元気で、優しい雰囲気を持ったクラスです。わいわいガヤガヤしていても、誰かが話しかければすぐに聞く姿勢を整えることができます。そうした姿勢は人に深い安心を与えられるものなのだとすることを、皆さんとの関わりのなかで実感しながら、私はとても楽しい毎日を過ごしています。これからも、遊び心と、まっとうでありたいと思う真面目さの両方を持ち続け、いろいろなことを学び、実践してください。お互いがんばりましょう。

電子制御工学科 第1学年担任 野々村 咲子



- 担当科目** 英語
- 趣味** 音楽鑑賞、DIY
- 担任としての抱負、その他**

1Dにはいつもどこか凛とした空気が漂っていて、それが程よい緊張感を保っているように思います。互いが良い刺激となり、尊重し合い高め合えるクラスとなるように、担任として注意深く見守っていきたくと思います。

学生の皆さんがこの5年間で多くを学び、夢を実現するためのヒントを得ることを期待しています。そのためには積極的に行動し大いに挑戦してください。時には思い通りにならないこともあるでしょうが、経験を糧として、たとえどん底に落ちたとしてもそこから這い上がる力強さとしなやかさを身に付けてほしいと願っています。

環境都市工学科 第1学年担任 小早川 裕悟



- 担当科目** 地理、倫理
- 趣味** 読書
- 担任としての抱負、その他**

1年環境都市工学科の学生を見ておると、岐阜高専での生活にも慣れ、中学校とは大きく異なる学業面と学生自身のしたいことの両立を実現しようと日々頑張っている姿が確認できます。岐阜高専は、普通高校と比べ、自由度が高く、学生自身がしたいことに取り組める環境が整っていると思います。担任として、それぞれの学生が自分自身で取り組みたいことや学業、部活、生活面でのサポートを行い、学生1人1人の持つ長所や個性を伸ばせるよう手助けしていきたいという思いを抱いています。そのためにも、学生1人1人としっかりと向き合っていけるよう、日々努めて参ります。

建築学科 第1学年担任 八木 真太郎



- 担当科目** 数学
- 趣味** 数学、音楽、各種モータースポーツ観戦
- 担任としての抱負、その他**

自ら工務店を営み、建築士として設計・施工に携わっていた父が亡くなってから1年が過ぎようとしていた頃、建築学科の担任をすることになりました。これは何かの縁があったことだと思います。学生たちが教室で図面を広げている様子を目にすると、事務所や家で眺めていた父の作業が懐かしく感じられます。

私が日頃大切であると考えていることの1つに、“自分に与えられた役割やできることに対してその日の最善を尽くすこと”があります。現実の社会においては周囲といろいろな面で補い合いながら1つのものを仕上げますが、そのお互いのサポートの根本は最低限の個人プレーを責任もってできることであると考えているからです。学生達には様々な活動中でそのことを学んで欲しく思います。

学生たちに出会ってから今日に至るまで幸いにも学級運営が概ね順調にできています。周囲からの声も大切に、授業等を通じて自立するためのサポートをしていく所存です。

学級担任紹介 (第3学年)

機械工学科 第3学年担任 河野 託也



- 担当科目** 応用物理Ⅰ、Ⅱ、Ⅲなど
- 趣味** スポーツ観戦(野球、テニス、ラグビー、卓球など)、緑のカーテン作り
- 担任としての抱負、その他**

3年次を終える頃には、学生各自の卒業後の明確な進路目標を持てるようにキャリア指導とその助言を行うことです。学習面では専門科目の講義や実験が本格的に始まり、学習内容の復習やレポート作成にも多くの時間を費やすことになります。卒業後の目標を持つことで、学習に対する意欲も変わると思っています。各自が目標や課題を持ち1年間を通じて学習に励めば、4年次の学習に向けた準備が整うばかりか、卒業後の進路もより開かれると思います。

電気情報工学科 第3学年担任 柴田 欣秀



- 担当科目** 応用数学A、技術英語、プラズマ工学
- 趣味** プログラミング (python、matlab)、映画・海外ドラマ鑑賞
- 担任としての抱負、その他**

本校での勤務は今年で5年目になります。昨年度は高専機構の在外研究員制度を利用して1年間 University of California, San Diego で Visiting scholar として専門である核融合の研究を行っていました。高専では様々な国際交流の場があり、自分が望めば気軽に海外の学生と触れ合う機会があります。私も海外での生活を通して多くのことを学びました。就職・進学まで少しだけ時間がある3年生の時に、是非1歩踏みだして様々な国の人と関わりを持ってみてください。国際化が進んでいる社会では必ず役に立つと思います。留学などの相談があるときにはいつでも相談してください。

電子制御工学科 第3学年担任 小林 義光



- 担当科目** 機械運動学、電子制御工学実験
- 趣味** テニス
- 担任としての抱負、その他**

クラスの目標は「相手の立場にたって行動する」です。これまでは自分のことを考えるだけで精一杯であったと思いますが、少し相手の立場になって行動してみると、自分自身が見えてくるのではないのでしょうか？3年生では、専門科目の授業が増え、今後の自分の進路に対しての不安があると思いますが、自分自身を理解し、少しでも良い進路が選択できるようにサポートしたいと思います。

環境都市工学科 第3学年担任 菊 雅美



- 担当科目** 水理学Ⅰ、基礎実験、数値計算法、測量学Ⅲ
- 趣味** 散歩、スポーツ観戦、PCメンテナンス
- 担任としての抱負、その他**

着任5年目にして初の学級担任です。私は福井高専出身で、3年次の頃を最近よく思い出します。学校生活は楽しかったのですが、環境都市工学科は第2希望であったため、専門科目が本格的に始まった3年次頃から進路について悩むようになりました。結局、人生の目標が見つかったのは専攻科1年次でした。3年生の今、進路の目標が決まっていれば素晴らしいことですし、決めていなくても全く焦る必要はありません。ただ、自分の目標や将来像について漠然とで構いませんので考えることはして欲しいですし、そのお手伝いをしたいと思います。

建築学科 第3学年担任 小川 信之



- 担当科目** 応用物理、応用数学、情報処理
- 趣味** 読書・散歩
- 担任としての抱負、その他**

岐阜高専の楔型教育では、3年生から構造系の力学科目、環境系の科目や計画系の科目において専門科目数が大きく増えます。4年生科目、5年生科目に繋がる科目もあり、3年生の学習は重要で、節目の学年となります。

今年は、建築学科棟改修のために、前期期間は、図書館2階の部屋を仮3A教室として使用し、後期期間は、改修後の建築学科棟の新3A教室を使用します。また、建築学科が岐阜高専に増設されてから50年余を経て、9月には50周年記念行事が開催されます。建築学科自体も節目の年を迎えています。

学級担任紹介 (第4学年)

機械工学科 第4学年担任 宮藤 義孝



- 担当科目** ものづくり入門、機械工作法、機械工学実習、創生工学実習
- 趣味** 野球観戦、釣り、旅行
- 担任としての抱負、その他**

持ち上がりで4年生の担任も務めさせていただくことになりました。4年生にもなると「決断」しなければいけない場面も多くなるかと思えます。先日、16年ぶりに卒業生にお会いしました。彼は立派な大学の先生となっておりました。彼が言うには、先生の助言で一番印象に残っている言葉は、「決断しなさい、決断したら後は迷わず前に進みなさい」とのことらしいです。そういえば、この20年間、大事な場面でこの言葉を学生に言っていたような気もいたします。とりあえず、担任として、学生皆様のお力添えになれるように頑張りたいと思います。

電気情報工学科 第4学年担任 熊崎 裕教



- 担当科目** 電気磁気学Ⅰ、電子計測、技術者倫理
- 趣味** スポーツ(すること、見ること)
- 担任としての抱負、その他**

4学年は進路決定に向けての重要な期間、また、社会人としての準備をスタートする時期でもあります。これまで授業を担当したことのないクラスの担任となりましたが、学生時代、企業に勤務の時代、また、教員となってからの数々の失敗や反省を活かして担任業務に取り組み、学生さん達が悔いなく高専時代を過ごせるように少しでもサポートできれば、と思います。ただ、自分の学生時代とは違うことも多くあり、過去の反省がそのまま通用しない点には注意を図るつもりです。

電子制御工学科 第4学年担任 遠藤 登



- 担当科目** 情報処理、情報伝送工学、システム制御
- 趣味** ドライブ
- 担任としての抱負、その他**

昨年度の3年生に引き続き学級担任を務めさせていただきます。4年生では3年生と比べ非常にたくさんの方の行事があり、高専生活の中で最も忙しい時期になります。授業も専門科目が中心となり、これまでの積み重ねと日頃の学習が重要になってきます。そのような中で進路選択をし、将来を見据えて励むことはとても大変だと思います。あきらめることなく一歩でも二歩でも先に進めるように日々努力をしてください。皆さんの努力が皆さん自身の将来を作っていくことになります。担任は皆さんのお手伝いしかできませんが、困ったこと、悩んだことがあれば遠慮なく相談してください。

環境都市工学科 第4学年担任 角野 晴彦



- 担当科目** 環境工学Ⅰ・Ⅱ、基礎実験Ⅰ他
- 趣味** 釣り、スキー
- 担任としての抱負、その他**

第4学年は、高専生活の中で、試験勉強する時間も最も長い学年ですが、試験勉強以外の思い出も最も多くなる学年ではないでしょうか？ そのなかで、進路選択を迫られます。ここでの気分は一見、就職希望の者は大学3年生、進学希望の者は高校2年生のようですが、その選択方法、条件、環境は高専独自の部分があります。高専というパス(キャリア)を通過中の学生は、高専以外のパスを通過中の人とは別の能力、情報、人脈等を持ちます。担任として、ここの部分をよく理解して進路選択に臨めるように、また学生が様々な思い出を作れるように、指導・支援に努める所存です。

建築学科 第4学年担任 今田 太一郎



- 担当科目** 空間デザイン基礎、建築計画Ⅰ
- 趣味** 音楽鑑賞、釣り
- 担任としての抱負、その他**

大学院生時代、私は所属する研究室で集合住宅の設計に取り組んでいました。ある時、ふと「設計時に空白を残しておいて、住み手がそれを手がかりに自由に環境を作るとするのはjazzみたいですね。」と口にした。ニヤッと笑って「そうだよ。」と先生は答えました。先生も私もjazzが好きだった。

例えば音楽、建築、車、人間が創り出す色々なモノの根底にあるモノづくりの思考に境界はないのだと、その瞬間実感しました。君たちが、今興味を持ち、一生懸命取り組んでいるコトは、未来のモノづくりのタネになるかもしれない。この一年を真剣に楽しんでください。

東海地区高専体育大会結果

●第57回東海地区国立高等専門学校体育大会成績について

第57回東海地区国立高等専門学校体育大会を鈴鹿高等専門学校が主管校として実施されました。本校の選手も各競技種目に参加し、日頃の練習成果を発揮しました。ラグビー・フットボール競技については、10月27日(日)に開催予定です。なお、各競技種目の成績は、次のとおりです。

競技名	競技種目	成績	氏名	備考
陸上競技	男子総合	優勝		104点
	男子200m	3位	野々垣 慶真 (3 M)	
	男子400m	2位	鳥居 大和 (2 C)	全国大会出場
	〃	3位	高橋 直人 (3 M)	
	男子800m	優勝	石田 健 (5 A)	全国大会出場
	〃	3位	岡田 昂大 (3 E)	
	男子1500m	優勝	石田 健 (5 A)	全国大会出場
	男子5000m	2位	大野 聡太 (2 D)	
	男子110mH	優勝	野々垣 慶真 (3 M)	全国大会出場
	男子4×100mR	2位	野々垣 慶真 (3 M)・安江 大登 (3 D)・高橋 直人 (3 M)・鳥居 大和 (2 C)	全国大会出場
	男子4×400mR	2位	高橋 直人 (3 M)・鳥居 大和 (2 C)・服部 暉大 (2 E)・石田 健 (5 A)	全国大会出場
	男子走幅跳	2位	安江 大登 (3 D)	全国大会出場
	男子三段跳	優勝	安江 大登 (3 D)	全国大会出場
	男子砲丸投	2位	高野 夢衣斗 (2 C)	
	男子円盤投	2位	江崎 信幸 (5 A)	
	男子やり投	3位	真喜 皓大 (2 C)	
	男子円盤投	3位	八木 伽月 (2 D)	
	女子総合	優勝		
	女子800m	優勝	佐藤 夕貴 (4 C)	全国大会出場
	〃	2位	山崎 真梨 (4 A)	全国大会出場
	女子3000m	優勝	佐藤 夕貴 (4 C)	全国大会出場
	〃	2位	山崎 真梨 (4 A)	全国大会出場
	〃	3位	鹿野 有希 (2 C)	
	女子100mH	2位	堺 晴香 (4 C)	全国大会出場
	女子4×100mR	2位	堺 晴香 (4 C)・高木 瑞花 (5 A)・江崎 晴香 (5 A)・長尾 里奈 (4 A)	全国大会出場
	女子走高跳	2位	高木 瑞花 (5 A)	全国大会出場
	女子走幅跳	優勝	高木 瑞花 (5 A)	全国大会出場
	女子円盤投	優勝	古川 芽依 (5 E)	全国大会出場
	女子砲丸投	優勝	古川 芽依 (5 E)	全国大会出場 辞退
	女子やり投	優勝	古川 芽依 (5 E)	全国大会出場
〃	3位	夏目 妃那子 (4 A)	全国大会出場	
サッカー		2位	渡部 (5 M)・大橋 (5 M)・下里 (5 E)・本杉 (5 C)・酒匂 (5 A)・長谷川 (4 M)・畑中 (4 E)・宮司 (4 D)・小森 (4 D)・村瀬 (4 C)・松下 (4 C)・金森 (4 A)・竹中 (4 A)・浅野 (3 M)・堀田 (3 M)・伊藤 (3 E)・三輪 (3 C)・安藤 (3 C)・野村 (2 M)・今村 (2 A)	全国大会出場
硬式野球		2位		
ソフトテニス	男子団体	2位	松岡 (5 C)・加藤 (3 C)・早川(秀) (4 C)・早川(隆) (4 C)・大志万 (4 D)・松尾 (3 C)・近藤 (2 D)・川村 (1 C)	
	男子個人ダブルス	優勝	大志万 龍之介 (4 D)・松尾 和龍 (3 C)	全国大会出場
	女子団体	4位		
	女子個人ダブルス	2位	馬淵 理子 (2 C)・森 葉月 (4 A)	
バレーボール	男子	3位		
	女子	3位		
バスケットボール	男子	3位		
	女子	2位	7/13(土)東海北陸代表決定戦(昨年度全国優勝鈴鹿高専がシードのため)…敗退	
卓球	男子団体	4位		
	女子団体	優勝	守谷 (5 C)・大野 (4 A)・川崎 (3 C)・杉本 (3 C)・岩橋 (3 E)・加藤 (3 E)・小出 (1 A)	全国大会出場
	男子個人シングルス	2位	大塚 友貴 (5 M)	
	女子個人シングルス	2位	大野 友菜 (4 A)	
	女子個人ダブルス	2位	大野 友菜 (4 A)・川崎 宛佳 (3 C)	

競技名	競技種目	成績	氏名	備考
柔道	男子団体戦	優勝	日下部(5 E)・牛丸(5 M)・松久(5 M)・山下(5 M)・丹下(5 C)・渡邊(5 A)・日比野(1 M)	全国大会出場
	勝抜団体試合	優勝		
	男子個人60kg級	優勝	牟田 麗人 (3 E)	全国大会出場
	〃	2位	清水 陽生 (1 D)	
	〃	3位	奥村 泰大 (5 C)	
	〃	3位	牟田 彩人 (1 M)	
	男子個人73kg級	優勝	牛丸 克幸 (5 M)	全国大会出場
	〃	2位	山下 達也 (5 M)	
	〃	3位	渡邊 猛 (5 A)	
	〃	3位	日比野 将大 (1 M)	
	男子個人90kg級	優勝	日下部 完 (5 E)	全国大会出場
	男子個人90kg 超級	優勝	松久 聖 (5 M)	全国大会出場
	〃	2位	丹下 賢人 (5 C)	
	女子63kg級	優勝	今井 つかさ (1 C)	全国大会出場
	剣道	男子団体戦	4位	
男子勝抜戦		優勝		
女子団体戦		2位		
水泳	総合	3位		
	男子総合	優勝		
	女子総合	4位		
	男子200m 自由形	優勝	栗本 竜希 (3 C)	全国大会出場
	〃	3位	伊藤 綾佑 (3 A)	
	男子400m 自由形	優勝	栗本 竜希 (3 C)	全国大会出場
	〃	2位	後藤 恭兵 (2 A)	全国大会出場
	男子800m 自由形	優勝	松波 真之介 (3 M)	全国大会出場
	〃	2位	後藤 恭兵 (2 A)	全国大会出場
	男子100m 背泳ぎ	3位	本田 康成 (2 A)	
	男子200m 背泳ぎ	3位	本田 康成 (2 A)	
	男子200m 平泳ぎ	2位	松波 亮真 (1 M)	全国大会出場
	男子100m バタフライ	2位	山本 凌 (5 D)	全国大会出場
	男子200m 個人メドレー	優勝	松波 亮真 (1 M)	全国大会出場
	〃	2位	松波 真之介 (3 M)	全国大会出場
男子400m フリーリレー	優勝	山本 (5 D)・伊藤 (3 A)・松波 (1 M)・栗本 (3 C)	全国大会出場	
男子400m メドレーリレー	優勝	山本 (2 A)・松波 (1 M)・山本 (5 D)・栗本 (3 C)	全国大会出場	
女子100m 自由形	2位	小椋 芽依 (1 C)		
女子100m バタフライ	2位	小椋 芽依 (1 C)		
ハンドボール		4位		
テニス	男子団体	3位		
	女子団体	2位		
	男子シングルス	3位	林 亮弥 (2 M)	
	女子シングルス	優勝	高山 希望 (1 C)	全国大会出場
バドミントン	男子団体	優勝	渡辺 (5 M)・木村 (4 E)・金森 (3 M)・浅野 (3 D)・大里 (3 A)・川口 (2 D)	全国大会出場
	男子個人シングルス	優勝	大里 溪 (3 A)	全国大会出場
	〃	2位	浅野 陽介 (3 D)	
	〃	3位	木村 千春 (4 E)	
	男子個人ダブルス	優勝	渡辺 聡史 (5 M)・大里 溪 (3 A)	全国大会出場
	〃	2位	木村 千春 (4 E)・浅野 陽介 (3 D)	
	女子団体	2位		
	女子個人シングルス	2位	田口 七海 (3 A)	
	女子個人ダブルス	2位	田口 七海 (3 A)・近藤 和埜 (2 C)	
	〃	3位	岩佐 菜音歌 (2 A)・田口 広美 (2 A)	
ラグビーフットボール			10/27(日)第57回東海高専大会 ラグビー競技(沼津)その後代表決定戦へ	

*個人種目については第3位以上を掲載

全国高専体育大会結果

●第54回全国高等専門学校体育大会成績について

第54回全国高等専門学校体育大会を大島商船高等専門学校・広島商船高等専門学校が主管校として実施されました。本校の選手も各競技種目に参加し、日頃の練習成果を発揮しました。なお、各競技種目の成績は、次のとおりです。

競技名	競技種目	成績	氏名
陸上競技	男子総合	8位	
	男子400m		鳥居 大和 (2C)
	男子800m	2位	石田 健 (5A)
	男子1500m	5位	石田 健 (5A)
	男子110mH	8位	野々垣 慶真 (3M)
	男子400mH		野々垣 慶真 (3M)
	男子4×100mR		野々垣 慶真 (3M) 安江 大登 (3D) 高橋 直人 (3M) 鳥居 大和 (2C)
	男子4×400mR		高橋 直人 (3M) 鳥居 大和 (2C) 長崎 優輝 (3M) 服部 暉大 (2E)
	男子走幅跳	4位	安江 大登 (3D)
	男子三段跳	4位	安江 大登 (3D)
	女子総合	3位	
	女子800m	3位	佐藤 夕貴 (4C)
	女子800m	8位	山崎 真梨 (4A)
	女子3000m	7位	佐藤 夕貴 (4C)
	〃		山崎 真梨 (4A)
	女子100mH		堺 晴香 (4C)
	女子4×100mR	6位	堺 晴香 (4C) 高木 瑞花 (5A) 江崎 陽香 (5A) 長尾 里奈 (4A)
	女子走高跳		高木 瑞花 (5A)
	女子走幅跳		高木 瑞花 (5A)
	女子円盤投	2位	古川 芽依 (5E)
女子やり投	優勝	古川 芽依 (5E)	
〃	3位	夏目 妃那子 (4A)	
サッカー		3位	渡部(5M)・大橋(5M)・ 下重(5E)・本杉(6C)・ 酒匂(5A)・長谷川(4M)・ 畑中(4E)・宮司(4D)・ 小森(4D)・村瀬(4C)・ 松下(4C)・金森(4A)・ 竹中(4A)・堀田(3M)・ 伊藤(3E)・三輪(3C)・ 安藤(3C)・野村(2M)・ 長谷川(2M)・多村(2A)

競技名	競技種目	成績	氏名
ソフトテニス	男子個人ダブルス		大志万 龍之介 (4D) 松尾 和龍 (3C)
卓球	女子団体	3位	守谷(5C)・大野(4A)・ 川崎(3C)・杉本(3C)・ 岩橋(3E)・加藤(3E)・ 小出(1A)
柔道	男子団体戦	優勝	日下部(5E)・牛(5M)・ 松久(5M)・山下(5M)・ 丹下(5C)・日比野(翔) (3M)・日比野(将)(1M)
	男子個人60kg級	優勝	牟田 麗人 (3E)
	男子個人73kg級	2位	牛丸 幸幸 (5M)
	男子個人90kg級	2位	日下部 完 (5E)
	男子個人90kg 超級	優勝	松久 聖 (5M)
	女子63kg級		今井 つかさ (1C)
水泳	総合		
	男子総合		
	男子200m 自由形		栗本 竜希 (3C)
	男子400m 自由形		栗本 竜希 (3C)
	〃		後藤 恭兵 (2A)
	男子800m 自由形		松波 真之介 (3M)
	〃		後藤 恭兵 (2A)
	男子200m 平泳ぎ		松波 亮真 (1M)
	男子100m バタフライ		山本 凌 (5D)
	男子200m 個人メドレー		松波 亮真 (1M)
	〃		松波 真之介 (3M)
	男子400m フリーリレー		松波(亮)(1M)・伊藤(3A)・ 後藤(2A)・松波(真)(3M)
男子400m メドレーリレー		本田(2A)・長尾(1D)・ 松波(亮)(1M)・後藤(2A)	
テニス	女子シングルス		高山 希望 (1C)
バドミントン	男子団体		渡辺(5M)・木村(4E)・ 金森(3M)・浅野(3D)・ 大里(3A)・川口(2D)
	男子個人シングルス	3位	大里 湮 (3A)
	男子個人ダブルス		渡辺 聡史 (5M)・ 大里 湮 (3A)

*個人種目については第3位以上を掲載

平成30年度学業成績優秀者賞表彰

令和元年5月8日(水)12:40~大会議室にて、平成30年度学業成績優秀者の表彰を行なった。これは、平成30年度各クラスにおける学年成績トップの学生を、成績優秀者として表彰するものである。第2学年より第5学年までの20クラスにおける成績優秀者と、留学生の中で最も学年成績が良かった学生1名の計21名を表彰した。受賞者には、校長より表彰状と記念品として図書券が贈呈された。



学年	学科	氏名
2年	機械工学科	河合 剛毅
2年	電気情報工学科	黒崎 椎真
2年	電子制御工学科	秋庭 孔樹
2年	環境都市工学科	南波 典季
2年	建築学科	小澤 悠里
3年	機械工学科	服部慶士郎
3年	電気情報工学科	川上 昌汰
3年	電子制御工学科	秋庭 正樹
3年	環境都市工学科	高橋 葉納
3年	建築学科	河村 知香

学年	学科	氏名
4年	機械工学工学科	諏訪 太陽
4年	電気情報工学科	高田 翔平
4年	電子制御工学科	大倉 秀斗
4年	環境都市工学科	二山 友美
4年	建築学科	井川実乃里
5年	機械工学工学科	市橋 匠
5年	電気情報工学科	古川 芽依
5年	電子制御工学科	野々垣 颯人
5年	環境都市工学科	本杉 蓮
5年	建築学科	桐山日菜子
5年留学生	建築学科	キム

公開講座・入試説明会

令和元年度公開講座 一覧表

講座の名称	開催日	開催時間	受講対象	募集人員	総開設時間数	受講料	材料費	講座の概要
きのくにロボットコンテスト小学生部門	①令和元年 8月4日(日)	9:30~ 12:00	小学生	20	4.5	無料	無料	「全日本小中学生ロボット選手権」(小学生部門)の岐阜県代表決定戦を実施する。1回目は大会の課題説明とロボットキット組み立て講習会を行う。2回目は、参加者が作製したロボットによる競技を行い、県代表者を決定する。
	②令和元年 10月20日(日)	10:00~ 12:00						
きのくにロボットコンテスト中学生部門	①令和元年 8月4日(日)	9:30~ 12:00	中学生	20	4.5	無料	無料	「全日本小中学生ロボット選手権」(中学生部門)の岐阜県代表決定戦を実施する。1回目は大会の課題説明とロボットキット組み立て講習会を行う。2回目は、参加者が作製したロボットによる競技を行い、県代表者を決定する。
	②令和元年 10月20日(日)	13:30~ 15:30						
電子楽器を作ろう —マイコンを使った電子工作—	令和元年 8月4日(日)	10:00~ 16:00	小学校 5・6 年生 中学生	20	5	無料	1,000	マイコンと圧電スピーカーを用いて電子楽器を製作する。現在予定している楽器の種類は、弦の無い弦楽器や、息を吹きかけると音のでるトロンボーン、たたくと光って音がるドラムであるが、参加者のレベルや経験に合わせて、製作する楽器は選択できるようにする予定である。製作を通じて電子回路の知識とプログラミングの知識を身につけることができる予定であり、完成品も持って帰ることが可能である。
はじめての七宝焼き	令和元年 8月6日(火)	13:00~ 16:00	中学生 社会人	15	3	無料	無料	初心者を対象に、伝統工芸である七宝焼きを、オリジナルアクセサリーを作ることで体験してもらう講座
すまいづくり入門(設計製図編)自分の理想のすまいを作ろう	令和元年 8月20日(火)	10:00~ 16:00	中学生 保護者 中学校 教諭	20	5	無料	無料	人々の生活の場所である「すまい」について、環境・構造・計画の3つの側面からの講義より、具体的に「すまい」を考える視点を学びます。これを活かして最後の演習の時間で、講師全員と参加者が協力して、「理想のすまい」の計画を図面に表現します。
すまいづくり入門(インテリア編)3Dプリンタで家具を作ろう	令和元年 8月21日(水)	10:00~ 16:00	中学生 保護者 中学校 教諭	20	5	無料	無料	人々の生活の場所である「すまい」について、インテリアの講義により具体的に「すまい」を考える視点を学びます。これを活かして、演習の時間では3DCGソフトと3Dプリンタを使って家具を作り、インテリアコーディネート体験を行います。
「夢を地図に残す 環境都市工学入門」 〜モトスの地上絵をかこう〜	令和元年 8月31日(土)	10:00~ 12:00	小学校 4~6 年生 保護者 参加可	15	2	無料	無料	地図に残る“モノ”をつくるときに欠かせない“測る”をテーマに、最新の測量技術を使って受講者全員でグラウンドに巨大な地上絵を描きます。また、ドローンによる最新の測量技術について紹介します。
LEDを使ったミニイルミネーションを作ろう	令和元年 9月8日(日)	9:30~ 12:00	中学生 (小学5・ 6年生対 応可)	10	2.5	無料	無料	青色が開発されてからLEDは、クリスマス・イルミネーションなどで多用され、様々な分野でも利用されている。この講座では、そのLEDに親しむ目的で、色々なLEDを組み合わせて、点滅する楽しいイルミネーションを作る。
電子回路の組み立てとロボットの製作	令和元年 9月28日(土)	10:00~ 16:00	中学生	20	5	無料	2,500	電子部品やブレッドボードを使って回路製作の基礎を教える。またフォトリフレクターと呼ばれるセンサーを用い、白および黒色を判別する回路設計を行う。さらに、この回路を応用し、ライントレースロボットの作製を行う。ライントレースロボット作製後はミニ競技を実施し、製作したロボットの性能を競う。

※小学生は保護者の同伴が必要

入試説明会日程 (令和2年度)

月 日	時 間	会 場 及 び 場 所
6月15日(土)	13:30~15:30	岐阜工業高等専門学校(本巣市上真桑2236-2) TEL(058)320-1260
7月20日(土)	13:30~15:30	アイプラザ一宮(一宮市若竹町3-1-12) TEL(0586)77-6612
7月21日(日)*	10:00~12:00	岐阜工業高等専門学校(本巣市上真桑2236-2) TEL(058)320-1260
	13:30~15:30	
8月4日(日)	13:30~15:30	彦根勤労福祉会館(彦根市大東町4-28) TEL(0749)23-4141
8月10日(土)	13:30~15:30	瑞浪市総合文化センター(瑞浪市土岐町7267-4) TEL(0572)68-5281
8月24日(土)	13:30~15:30	岐阜工業高等専門学校(本巣市上真桑2236-2) TEL(058)320-1260
11月2日(土)	10:00~12:00	高山市民文化会館(高山市昭和町1-188-1) TEL(0577)33-8333
12月1日(日)	13:30~15:30	岐阜工業高等専門学校(本巣市上真桑2236-2) TEL(058)320-1260

※7月21日(日)は午前(10時から12時)及び午後(13時半から15時半)の2回行います。

なお、各会場とも説明する内容はほぼ同じです。ご都合のよい会場・開催日にお越しください。

新任教職員紹介



機械工学科 **島本（田中）公美子**

4月1日付けで山陽小野田市立山口東京理科大学から機械工学科 講師として着任いたしました。専門は材料設計・材料テーラリングです。金属・セラミックス・ポリマーなど幅広い材料を扱い、それらのカテゴリーに囚われない研究スタイルで、ニーズに合わせた材料（特に機械材料）の創製・加工・提案を行っています。自分のためだけではない、大切な人や環境を豊かにする心優しいものづくりを心掛けています。宜しくお願い申し上げます。



電気情報工学科 **堀内 咲江**

今年度4月1日付けで電気情報工学科に着任いたしました。私自身は普通高校出身で高専に関わる機会はほとんどなかったのですが、高専出身の先輩や後輩、そして現役の先生方から高専の話聞くうちに高専教員への関心が高まってきました。この度、ご縁があり岐阜高専の教員として採用していただき嬉しく思います。不慣れなところも多く、まだまだ勉強中の身ではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。



学生課教務係 **宮川 和滉**

平成30年度3月1日付けで採用していただきました学生課教務係の宮川と申します。大学を卒業して半年たちますが社会人としてまだまだ慣れないことばかりです。日々の業務において戸惑うことが多々ありますが、少しでも皆様のお役に立てるよう、精進していく所存でございます。微力ながら、岐阜高専に貢献できるよう力を尽くしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

校外実習報告

インターンシップを終えて

機械工学科 第4学年 諏訪 太陽

私は航空機への興味があり、ANAのインターンシップに参加しました。正式にはANAの整備部門7社からなるe.TEAM ANAのインターンシップです。このうち4社を見学しましたが、羽田空港の滑走路や格納庫で見る巨大な機材をチームで整備する現場には圧倒されました。また、整備士は黙々と働く職人のようなイメージでしたが、予想に反して明るく接しやすい方ばかりでした。

実習ではタイヤ交換などをしました。自分の整備がたくさんの人の命を左右すると思うと怖くなりますが、その分やりがいも大きいという事を肌で感じました。

懇親会では高専出身の整備士の方が相談にのってくださり、不安が解消され、仕事のイメージがより具体的なものとなりました。ANAで働く社会人から刺激を受け、多くを知り得た5日間でした。来年インターンシップに行く高専生で、成長したい人には自信をもっておすすめできる職場です。

医療機器関係のインターンシップに参加して

電気情報工学科 第4学年 橋本 茉侑

私はキャノンメディカルシステムズ株式会社のインターンシップに参加して、医療機器を対象としたサービスエンジニアとしての業務について講習を受け、実習も行いました。具体的には医療機器の設置・点検・修理といった業務に同行しながら、現場での対応について体験することが主な実習内容です。医療機器に対する専門知識が求められるだけでなく医師とのコミュニケーション能力、個人での問題解決能力が求められる厳しさについて知りました。この分野での業務の魅力を感じるとともに、求められる責任や能力の大きさを実感した貴重なインターンシップとなりました。

インターンシップを通して

電子制御工学科 第4学年 田口 駿

今回の夏休み期間中に僕は神奈川県のマキノ技術サービスで10日間インターンシップに参加してきました。マキノ技術サービスでは主に、同グループ会社で製造された工作機械のメンテナンス、据え付け業務などを行っている会社でありお客様とのコミュニケーションが重要視されている会社です。インターンシップでは、自分と同じように高専生の参加者が複数人いてその中でグループを作り、実際の会社で行う作業をグループで行いました。お互いに初めて顔を合わせる者同士ということもあり最初はぎくしゃくしていました。1人では行うことが難しい課題などが出た場合に全員で協力して行うことで、次第にコミュニケーションをとれるようになりました。社会の中では1人で行動することは少なく常にだれかと関係を持っているということをよく実感できるインターンシップでした。今回学んだことを普通の生活や社会に出てからも生かしていきたいです。

心強い卒業生と期待される高専生

環境都市工学科 第4学年 早川 友樹

インターンシップ先である岐阜県庁では、学校で学んだ内容が次々と出てきました。授業で学んだことが、実際に現場視察することで理解を深め、実務でどのようにして役に立つのかを知りました。一方で、行政における業務は、法的な手続きも含まれており、事務方と協力していました。ここで、学校を飛び出して就業していると体感できました。

岐阜県庁には、岐阜高専の卒業生が多く在職されています。卒業生の活躍によって、私たちも実習中に期待されていました。これには、嬉しく思うと同時に、日々の勉強に一層の励みになりました。卒業生の存在は、入庁してからも心強い存在であることを魅力だと思いました。

インターンシップは、実務の理解と進路選択に役立つと思います。これをきっかけに、級友のインターンシップ報告を聞いたり、業界説明会に参加して、生涯に涉るキャリアプランを設計していきます。

インターンシップで学んだこと

建築学科 第4学年 長尾 里奈

私は実際に建物を建てる役割を担う工務店の5日間のインターンシップで施工現場の見学、工務店の仕事、現場で働く職人さん、女性設計士さん、事務員さんのお話を聞きました。

現場で疑問に思った事を写真に撮り、事務所に持ち帰って質問し、説明を聞くという方法で現場見学をしました。現場に向かう車の中でも建物の部材や施工の方法についてなどたくさんのクイズを出され、これらのことから「意味を考えて本質に気づくことの大切さ」を学びました。自分で気づいたことや疑問思ったことに対する解答は、受動的に教えてもらうことよりも深く理解出来て、印象に残りました。

実際に建物を建てることに携わっている様々な職種の方のお話を聞くことができ、建築の仕事をするということが私の中で実体を持ち、現実味を帯びました。

学校の座学とは違う視点で建築に触れ、仕事をするということについてとても多くのことを学べた5日間でした。

海外インターンシップ

海外インターンシップという貴重な経験

先端融合開発専攻 1年次 稲垣 虎多郎

今回は、イギリスイングランド北東部のダラム州にある TYK Limited 様で3週間のインターンシップをさせて頂きました。TYK は耐火物製品、先端材料、環境製品を扱う日本の会社で、国内外に多くの工場や営業所を設け生産や輸出を行っています。その中でも私が勤めさせて頂いた工場では、製鉄の工程で用いられる耐火物製品を取り扱っていました。今回の実習では、製品の仕上げや梱包作業、そして強度試験や重量測定を行う品質管理を体験させて頂きました。これらの作業は現地の作業員から英語で指示を受けました。現地の方の話す英語を聞き取るのに最初はとても苦労しました。しかし、ジェスチャーや簡単な単語を使ってくださったため、聞き取ることができました。仕事の雰囲気はとてもよく、日本人学生である私たちも快く受け入れてくださいました。笑いも飛び交う職場ですが、工場内は頭上をクレーンが動き回るので皆さん安全第一は常に心がけていました。



仕事の合間には英語で様々な会話をしました。拙い英語ですが、現地の方も快く耳を傾けて下さいました。発音が悪く伝わらないこともあり、まだまだ英語のスキルが足りていないと自覚しました。コミュニケーションを経て、日本とイギリスの文化の違いを知り、ファッションや音楽、スポーツといった様々な話題で楽しむことができました。

このインターンシップは海外で暮らし、働くという大変貴重な経験となりました。以前より興味があった海外での生活に触れ、刺激的な3週間となりました。お世話になった TYK の皆様には深く感謝いたします。

海外インターンシップ報告 (ITB インドネシア)

先端融合開発専攻 1年次 岡 葉菜乃

初めて訪れるインドネシアでの3週間は、とても有意義で貴重な時間になりました。

1週目はメイク方法やファッションなどの話題を取り上げ、日本とインドネシアの文化の違いについてのプレゼン発表をしました。2週目からは各々の専門分野で興味のあることを研究テーマに、先生や学生たちの手を借りながら研究を進めることができました。

現地の方や学生、先生はとても親切で、ご飯や観光に連れて行ってもらうことも多くありました。ITB はインドネシア第三の都市であるバンドンという街にあり、皆さんが想像しているよりもはるかに都会で、「インドネシアのパリ」と呼ばれることもあります。10分ほど車で移動すれば大型ショッピングモールや遊園地、動物園、ナイトクラブ、中華街などがあり、存分に観光を楽しむことができました。



現地の方はみんな親日的で親切、気さくです。通学路を歩いていると、日本語で「すみませーん！」「どこ行くのー？」などと話しかけられることがあり、はじめは少し怖いと感じていましたが、3週間過ごしているうちに「今日も学校だよ！」と気軽に返事ができるようになっていました。また、タクシーを利用している時には日本人と伝えると「一緒に写真撮って！」と言われることもあるほど、インドネシア人には日本好きな方が多いように感じました。

食べ物にあたってしまい3日間ホテルから出られないというハプニングもありましたが、3週間とても充実した日々を過ごすことができました。

海外インターンシップ報告 (UTM)

先端融合開発専攻 1年次 秋吉 宏哉

インターンシップの準備に関しては、必要最低限なものだけにして、あとは現地調達することにしました。またクレジットカードを持っていたので、現金についても現地の ATM で引き出すことにしたのですが、カードの暗証番号を忘れてしまい、宿泊代・食費もろもろ手持ちではとても足りなくなってしまいました。この件に関しては同じインターン先の河村君や大学の諸先生方友人にお金を工面してもらい、大変お世話になりました。飛行機は関西空港から格安航空便で7時間かけてクアラ Lumpur までいきましたが、機内は騒音が大きくまたテレビもついていなかったのもとても退屈でした。国内線に乗り換えジョホールバルに到着した時、大学から以前高専にきた学生が迎えに来てそのまま大学までのせてもらいました。宿泊に関しては留学生用の寮を使うことになり、とても快適でしたがカードキーを部屋に忘れて入室できなくなり、しかもそれが2度も起こしてしまいその度に同じ寮の人に開けてもらったものです。ジョホールバルの市街を歩いていて日本人は少ないのだと思っていたら、泊まっている寮の向かいの女子寮に東京の大学から留学している方が何人かおられ、一緒に食事に行きました。マレーシアや他の大学での留学事情についてとても興味深い話もあり、自分の海外留学に対する考えに大いに参考になりました。ジョホールバルの人々の英語力は非常に高いと感じましたが、大学の学生が言うにはそれでもアメリカ人などネイティブにとっては聞き辛い部分もあるとのこと、より英語を勉強しなければいけないという意味で危機感も持ちました。



たのしかったマレーシア

先端融合開発専攻 1年次 伊藤 駿一郎

僕は、専攻科の海外インターンで、マレーシアにあるトゥン・フセイン・オン・マレーシア大学 (UTHM) に3週間行ってきました。この大学は、ジョホール州のパトゥパハというところにあり、クアラ Lumpur とジョホールバルの間に位置しています。今年からインターン先として追加された大学で、大学自体も新しいです。UTHM には日本で専門分野を学んだ教授も多く、教養科目に日本語があり、学生もアニメや漫画などの日本文化に興味を持っている人が多いため、すぐに打ち解けることができました。現地の学生はとてもフレンドリーで優しく、初めのうちは毎食ご飯に連れて行ってくれたり、世界遺産の街マラッカへ連れて行ってくれました。



マレーシアの気候は意外と過ごしやすく、夏場の日本よりは少し気温が低くて夜は涼しかったです。心配していたスコールにも遭遇することなかったため、岐阜よりは居心地が良かったです。ただし、食事には注意する必要があります。安易に注文してしまった1日目の昼ご飯は辛すぎて胃が痙攣していた事を覚えていません。そしてまた安易に飲み物を注文してしまった僕は、マレーシアの飲み物が極端に甘すぎることをまだ知りませんでした。

実習では、自分が高専でどのような研究をしているのかを伝えると、似ている研究分野の先生を紹介してくれて、自分のやりたいことを学べるスタイルでした。僕が高専で行っている薄膜の研究室を見学させて頂いたのですが、研究の規模がとても大きく、設備も整っていたため良い勉強になりました。この海外インターンでは様々な貴重な体験ができ、行ってよかったと思えました。海外留学の機会があったら、マレーシアに限らず是非行ってみると良い体験ができると思います。

海外インターンシップ

ドイツでのインターンシップ

先端融合開発専攻 1年次 山本 岳志

僕はドイツのハノーファー大学で3週間のインターンシップをさせていただきました。実習先では気象学について学びました。光のスペクトル解析や、風洞が発生させる気流を測定する実験、ドローンを用いて様々な気象情報を測定する実験などを行いました。僕は気象学の専門では無いので、現地の学生に沢山サポートしてもらいながら実験を行いました。ハノーファー大学の学生は全員がフレンドリーかつ優しく、僕が理解するまでとことん説明してくれました。自分が普段触れない分野を学ぶことに不安がありましたが、楽しい雰囲気の中で気象学を学ぶことができました。

また世話役の学生や教授が、ハノーファー市内の観光地やイベントにほぼ毎日連れて行ってくれました。初日の朝から海水浴に行き、午後からは学生の家族とバーベキューをしました。翌日は教授の家でピザ作りを体験しました。またある日は70人もの学生が集まって夜通しパーティーをしました。初めて会う人と英語で何時間も会話することで、英語に対する恐怖心は全く無くなりました。こんな毎日過ごしていたので、僕の人生の中で最もアクティブな3週間になりました。実習先のグロス教授は、インターンシップでは学問的なことを学ぶよりも、現地の人と沢山話したり色々な経験をしたりすることの方が重要だとおっしゃっていました。それを体現したことで色々な繋がりや思い出ができ、とても有意義なインターンシップになったと思います。

最後になりましたが、このような素晴らしい経験をさせてくださったハノーファー大学の先生方と学生の皆様、並びに、海外インターンの支援をしてくださった岐阜高専の先生方に心より感謝を申し上げます。



海外インターンシップに参加して

先端融合開発専攻 1年次 遠藤 大介

私は、ウズベキスタン首都のタシケントにある「トリノ工科大学タシケント校 (TTPU)」に、8月5日～8月26日の3週間という期間、インターンシップをさせていただきました。

インターンシップの期間であった8月5日～8月26日は、TTPUでは夏季休業にあたり、多くのプロフェッサーは帰省しており、インターンシップ期間中一人のプロフェッサーの下で活動を行うという形ではありませんでした。ではどのように活動をしていったかという点、TTPUの学生さん達の研究について教えてもらったり、普段の活動に参加させてもらったりといった活動をしていました。

私が大学へのインターンシップに抱いていたイメージは、一人のプロフェッサーから課題を与えられ、それをインターンシップ期間中に解決するというものでした。そのため、実際の活動が上記のようになったことに対して、私は当初とても困惑しました。しかし、TTPUの学生さん達はとても優しく、英語があまり堪能とは言えない私が理解を示すまで、自分たちの研究や活動についての説明をしてくれました。このような普段の活動や、すれ違った時等のスキンシップから、TTPUの学生さん達はとてもフレンドリーであることがわかりました。最初はイメージしていたインターンシップとの差異や、初の海外ということで緊張していた私でしたが、TTPUの学生さん達との上記のような交流によって、段々とリラックスした状態で向こうでの活動をできるようになっていきました。

また、インターンシップ期間途中の3日間を利用し、サマルカンドとブハラに観光をしに行きました。TTPUでの活動だけでなく、この観光からも現地の食事や住人の人柄を知ることができました。

最後に、今回の海外インターンシップにあたり支援してくださった方々に感謝いたします。



校内ニュース

令和2年度編入学者選抜検査

令和2年度編入学者選抜検査を次のとおり実施しました。
願書受付：令和元年7月29日(月)～令和元年7月31日(水)
17時まで

検査日：令和元年8月19日(月)
検査科目：数学、英語、専門科目、面接
検査会場：本校
合格発表：令和元年8月27日(火)

区 分	志 願 者 数	受 検 者 数	合 格 者 数
環境都市工学科	1	1	1
建築学科	2	2	2
合計	3	3	3

令和元年度科学研究費助成事業

(学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金) 採択件数

	基盤研究 (C)	挑戦的研究 (萌芽)	若手研究 (B)	若手研究	奨励研究	合計
継続	12	1	1	3		17
新規	6	0		4	0	10

第1学年校内研修

第1学年主任 野々村 咲子

4月8日(月)に本校多目的ホールにて、第1学年に向けての校内研修が実施されました。目的は、高専教育の特徴を理解し、学生生活に関するルールを学ぶことです。

最初に教務主事から、成績や進級要件等についての説明をしていただきました。続いて学生主事から、学生の表彰・懲戒、交通安全や盗難防止、SNS利用時の注意等についてお話していただきました。学生相談室長からは、相談室の紹介と利用方法について説明していただき、さらにカウンセラーさんからご挨拶していただきました。

入学して間もない1年生208名が、緊張の面持ちで一生懸命話を聞いていました。初心を忘れることなく、自分の目標を達成できるように努力を続けてもらいたいと思います。この5年間は、長いようでとても短いものです。卒業する時に、自分には有意義な学生生活を送れたと振り返ることができるように、日々積極的な姿勢で臨むことを期待しています。

校内ニュース

サークル活動リーダー研修会

学生主事補佐 **白木 英二**

5月15日(水)15時よりサークル活動リーダー研修会を図書館多目的ホールにて開催した。各クラブ・同好会の代表者とマネージャー、会計担当者が出席した。

学生会会長より“課外活動の手引き”に記載された規則や手続き方法について説明があった。また、学生会会計局長より本年度の各クラブへの予算配分が提示された。学生主事および学生主事補佐より緊急時の対応や周囲への配慮などクラブ活動を健全に行えるよう指導があった。アルコールハラスメントについても注意喚起した。最後に、総務課財務係より預り金の管理についての説明をいただいた。今年度も安全に楽しくクラブ活動を行うことを期待する。

研修会に引き続き、安全衛生委員会との共催により、大塚製薬より講師を招いて熱中症予防講習会を開催した。多くの学生及び教職員が聴講した。昨年度は非常に暑い日が続いた。今年度も熱中症には十分に注意し、水分補給等により予防する必要がある。

献血活動報告

学生会議委員 **石川 あゆみ**

学校の社会貢献活動の一環として年2回実施している献血につきまして、本年度1回目の活動が5月20日(月)に行われました。受付者数88名のうち、採決者数は去年より12名多い72名(400ml:58名、200ml:14名)でした。

本活動の周知のため、日本赤十字社から提供頂いたポスターを教室・掲示板に掲示しました。また、献血実施日に報道局長による放送を行いました。第2回の献血活動は10月26日(土)の高専祭公開日に実施予定です。本活動の意義をより多くの方にご理解いただける機会であると考えておりますので、引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

MSリーダーズ活動報告

学生会議委員 **石川 あゆみ**

MSリーダーズ活動とは、高校生が自発的に取り組む「生徒の生徒による生徒のための非行防止・規範意識啓発活動」のことで、岐阜県警察による少年警察ボランティアの一環として実施されています。本校においても1年生から5年生までの学生が参加し、学校周辺の清掃活動等を中心に活動しています。本年度の登録者数は、学生会役員、各クラスの評議員・風紀局員、その他の有志の学生からなる117名です。

本年度は従来実施している清掃活動が雨天により実施できず、5月24日(金)の朝の登校時間に正門・南門(寮門)横断歩道付近にて交通安全運動を実施しました。

オープンキャンパス2019

教務会議委員 **小栗 久和**

8月3日(土)に、令和元年度の本校オープンキャンパスが開催されました。これは、本校PR活動で最も重視している行事であり、受験を控えた中学生や保護者の皆様に、入試説明・学科催し物等を通じて、本校の実態・魅力を紹介し、本校を進路の選択肢の一つに加えて頂く事を目的としています。

教務会議において、悪天候であった場合の対処について議論されましたが、幸いにも晴天に恵まれ、厳しい暑さにも関わらず、本年度も多くの方々にご参加頂く事が出来ました。参加者数は中学生573名、保護者703名、中学校の先生5名の合計1281名で、昨年並みの状況でした。

催し物内容は、例年の入試説明、模擬授業、各学科紹介、ロボットコンロボットのデモ等に加えて、雄志寮居室の見学会も実施しました。5年生を中心とした学生諸君が、各部署で、分かりやすくさわやかに専門内容・学校の状況等を説明してくれ、アンケート調査でも、「本校学生の状況を見て、益々入学したくなった。」等の言葉を頂きました。学生の育成が最重要事項である本校にとって、何よりも嬉しいことです。

来年度も引き続き開催して参りますので、10月開催の高専祭と併せて、お知り合いに一声掛けて頂くなど、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最終年度を迎えた岐阜高専APの取り組み

教育AP推進室長 **所 哲郎**

岐阜高専は文部科学省の大学教育再生加速事業(AP)に採択され、6年間かけた教育改革を実践してきました。事業終了後も引き継ぐことと、事業終了に向けた課題を以下にまとめます。引き続き学生諸君と教職員各位の、主体的な活動を期待します。

- ・事業終了後も引き継ぐこと
- ①アクティブ・ラーニングなど、学生の主体的な学びを必要とする授業改革を継続します。
- ②全国高専No.1のICT活用教育支援環境と蓄積された教育・学修支援資産を守り、発展させます。
- ③全学展開した実践技術単位による自主的学修成果の可視化を継続し、キャリア教育に活用します。
- ・事業終了に向けた課題
- ④低学年の教室外学修時間に改善の余地があります。教科外含め自主的学修を推進して下さい。
- ⑤低学年のコンピテンシーに改善の余地があります。自分自身を俯瞰できるよう務めて下さい。
- ⑥英語キャンプやリテラシー学修など、色々な活動・催しに積極的に参加し、自己表現して下さい。

<http://www.gifu-nct.ac.jp/AP2014/>

公開講座紹介

機械工学科公開講座

機械工学科 山田 実、河野 託也、高橋 憲吾

8月4日(日)に機械工学科公開講座としてロボット組み立て講習会を開催しました。これは全日本小中学生ロボット選手権の岐阜地区予選会の講習会として行われた講座です。小学生部門には定員20名のところ27名の応募があり、抽選により23名が参加しました。中学生部門には20名の参加がありました。10月20日(日)に本校で開催されます予選会で各部門1、2位となったロボットが和歌山県で行なわれる本選に進みます。

講習会では教員、学生スタッフがロボットキットの組み立て方の指導や競技のアドバイスをしました。



公開講座「電子楽器を作ろう」

電気情報工学科 白木 英二、柴田 欣秀
堀内 咲江、田島 孝治

電気情報工学科ではマイコンを使った電子楽器の製作を公開講座として実施しました。本校3年生、4年生の学生さんも製作を補助し、ピアノ、ドラム、ギターの種類から好きな楽器を製作します。段ボールを好きな形に切りだし、スピーカーやマイコンなどを取り付けて配線が終わったら、次はプログラムを作ります。参加した小学生の中にはマイコンを使った製作の経験がある子もあり、オリジナルの楽器作りだけでなく、本校学生との交流も楽しむことができました。



電子制御工学科公開講座

電子制御工学科 小林 義光、北川 輝彦、小木曾 里樹

9月28日(土)に電子制御工学科公開講座として、小中学生を対象に「電子回路の組み立てとロボットの製作」と題するラインレースロボットの組み立て講座を開催しました。このロボットはセンサと電気回路のみの簡単な構成で、黒いラインに沿って動きます。今回の講座には中学1~3年の12名が参加しており、学年や今までの電子工作の経験に関係なく、電子制御工学科3年生の学生TAの指導の下で全員がロボットを完成させ、皆楽しそうに工夫しながらコース上を動かしていました。



公開講座「散らばったキーワードを探し出せ！」

環境都市工学科 菊 雅美



8月31日(土)に環境都市工学科の公開講座を実施しました。当初は「モトスの地上絵を描こう」を予定していたのですが、当日はグラウンドの状態が悪かったため急遽内容を変更しました。当日は、7組の小中学生と保護者の方々(総勢20名)にご参加いただきました。講座では、ハンディGNSS受信機を頼りに、高専の敷地内に散らばったキーワードを探して持ち寄っていただき、1つの文章を完成させました。また、ドローンによる地図作りについても紹介しました。



建築学科公開講座「すまいづくり入門・設計編」

建築学科 柴田 良一、今田 太一郎、青木 哲

建築学科公開講座・設計編は、中学生を対象とした14名の参加により、8月20日(火)の10時~16時に実施しました。この講座は建築学科の授業を想定した3分野に対応して、環境：青木、構造：柴田、計画：今田らによる基礎的な解説のあとで、全講師が担当となり、参加者が思い描くすまいを構想して、具体的な建築設計演習を行うものです。参加者は理想のすまいの設計図を、講師の助言のもとで試行錯誤しながら作ってゆきました。

学寮ニュース

令和元年度前期寮生会役員名簿

前期寮生会役員はまず、4月2日（火）の役員研修にて今年度の寮運営に関する議論を行ないました。その方針のもとに半年間の各寮運営、各種寮行事を取りまとめてきました。

役職名	学年	学科	氏名
寮長	5	M	服部 右京
副寮長	5	A	後藤 建太
書記長	5	E	森 晴樹
広報委員長	4	C	深川 尋斗
会計委員長	5	M	伊藤 誠吾
厚生委員長	4	C	平松 孝介
文化委員長	4	A	山本 大翔
企画委員長	4	A	岩嶋 亮佑
会計監査	4	M	上田 彩人
会計監査	4	D	中野 剛志
A寮総代	3	C	長谷川 修平
B寮総代	3	A	杉崎 駿太
C寮総代	3	A	須田 隆ノ介
D寮総代	5	D	酒匂 大輝
第1女子寮総代	4	C	清水 翔子
第2女子寮総代	3	A	曾根 未琴
留学生寮総代	5	C	アリフ
選挙管理委員長	4	M	後藤 匠

寮祭

副校長（寮務主事） **中島 泰貴**

大型連休の影響で、例年より一週間遅い開催となりましたが、恒例行事である寮祭が、今年も賑々しく行われました。初夏の爽やかな好天の下、5月17日（金）晩に演芸大会、18日（土）午前中に餅つき、昼はミニサッカー大会、夕方からはBBQ、その後は深夜までに及ぶお楽しみ会などが実施されました。

演芸では緊張気味だった1年生が、お楽しみ会になるとすっかりリラックスして、上級生となじんで楽しく競技を行う様子などが見られました。



餅つき



BBQ



お楽しみ会

寮生保護者懇談会

副校長（寮務主事） **中島 泰貴**

令和元年度寮生保護者懇談会は、5月25日（土）10時から本校図書館センター多目的ホールを主会場として開催されました。出席者は、保護者110名程と学校側から学校長、寮務主事、事務部長をはじめ寮務関係教職員計9名、寮生会役員8名でした。

懇談会は以下の内容で進行了しました。

- 1) 合同懇談会（多目的ホール）
- 2) 寮棟別懇談会
男子寮（多目的ホール）
女子寮（ビデオルーム）
- 3) 昼食
- 4) 教育後援会総会

合同懇談会では学校長挨拶、寮務主事による運営方針と現状報告、入寮式以降の寮行事の様子等の報告の他、寮務係長から寄宿舎経費収支報告を行ないました。

全体会・寮棟別懇談会を通し、保護者の皆様から率直な御意見御提言をいただきました。今後の寮運営に反映させていきたいと思っております。

大きな経験

電気情報工学科 第1学年 **大石 爽真**

私は当初、見ず知らずの人との寮生活に、少し不安を抱いていました。しかし、いざ寮生活を送っていくと、不安だった思いもすぐに消えました。今では、寮のイベントはもちろん、日常生活までもが楽しいと感じています。初め不安の対象だった見ず知らずの人が、今では仲間となり、私の交友関係はとてつもなく広がりました。

また、寮生活自体は、「礼儀」と「自立心」さえ持っていれば、毎日過ごすのにとってもよい環境だと思います。私は、寮で生活することによって、見ず知らずの人と仲良くなれるという経験ができたので、グローバル化する社会にも活かせるかと確信しています。

これからも、「礼儀」と「自立心」を心がけ、仲間と共に助け合って生活していくつもりです。

楽しい寮生活

建築学科 第1学年 **福田 沙弥花**

今年の4月、私は雄志寮に入寮しました。寮生活は、洗濯などの身の回りのことを全て自分でしなければいけない上に、親とも離ればなれになるので、私は初め、とっても心細く、不安でした。しかし、4ヶ月程度経ってみると、入寮して良かったなと改めて思います。自分の行動に、以前より責任を持てるようになり、自己管理能力や他人を思いやる心、自立心などが身に付きました。また、親がいない分、寮生同士での絆も生まれます。さらに、何か困ったことがあれば、先輩方や先生方が相談に乗ってくれたりします。寮生活はメリットばかりです。

初めの頃は、共同生活で慣れない礼儀や我慢が必要で大変だ感じていました。しかし、それが習慣化した今では、とっても楽しい寮生活を送ることができています。

クラブ紹介・同好会紹介

柔道部

岐阜高専柔道部の紹介

柔道部 顧問 栗山 嘉文

精力善用・自他共栄。嘉納治五郎先生の唱えた柔道精神を常に意識し、互いに励まし合い、身体だけでなく心も鍛えております。そのため、団体戦では東海高専大会では27連覇。全国高専大会では本年度に3連覇を達成、8回目の優勝を飾ることが出来ました。個人戦でも優勝はもちろん、3連覇をするだけでなく、インターハイ出場など好成績を取っております。

一方で、練習時間は他の強豪校と比べると短く、しかし短い時間で多くを学べるよう、技を身体と頭を使って覚えると共に、練習の一つ一つを丁寧に行っております。また、刑務官さんとの合同練習や地域の練習会などにも積極的に参加し、相手に馴れてしまわないよう、そして柔道の技術を広めていけるように活動を行っております。

昨今、柔道を選択する人が減少しておりますが、懂れて貰えるような、強く逞しく、そして礼儀正しい学生を育成していくことを目指し、これからも日々鍛錬をしていきます。

演劇部

岐阜高専演劇部の紹介

電気情報工学科 第3学年 吉川 幸樹

演劇部では、年に2～3回の公演を行い、普段の部活ではそれらにむけて稽古をしています。今年度は4月の新入生歓迎公演、10月の高専祭、1月のみずほ演劇祭の3つです。特に最後のみずほ演劇祭は、瑞穂市総合センターを会場とした県内唯一の演劇祭で、さまざまな一般の劇団が集まり、週替わりで公演するため、他の公演に比べて規模が大きく、学校として出場しているのは岐阜高専だけなので、僕たちも気合が入っています。公演のために日々の基礎練習や稽古を大切に、役者や裏方のクオリティの向上に努めています。また、上級生から下級生へ技術などを伝えること、下級生自身の基礎的な技量を高めることを重視し、1人1人のできることを増やしていくことが目標の一つです。1つの舞台を作るためにはとても時間が必要なため、忙しい日も多いですが、その分達成感が強く、創り上げることの楽しさを学ぶことができます。

LEGO 同好会

LEGO 同好会の紹介

LEGO 同好会 顧問 山田 実

LEGO 同好会ではレゴブロックを使って、電車や車、建物、からくりなどそれぞれが興味あるものを作り高専祭などで展示しています。また、レゴマインドストームを用いたロボット組み立て教室を開催し、大垣ロボカップ、トヨタ産業技術記念館などでのイベントや小学校・子どもセンターで子ども達にもものづくりの楽しさを教えています。主な活動場所である専攻科棟4階のゼミナール室5にはレゴブロックが置いてありますが、いらなくなったレゴブロックがあれば寄付して下さい。

なお、岐阜駅2階のみどりの窓口東にある岐阜市観光案内所にはレゴブロック約3万個を使った岐阜城を展示させていただいておりますのでぜひご覧ください。



高専ロボコン出場チーム紹介

高専ロボコン2019 らん♪ RUN Laundry

電気情報工学科 田島 孝治

今年の高専ロボコンの競技は“洗濯物干し”です。本物のTシャツ・バスタオル・シーツを、フィールドに設置された3本の物干しざおにロボットが美しく干すことを目指します。布は薄く変形もしやすいため、ロボットには扱いにくい素材です。これらをしわにならないように等間隔に並べ、美しく干すことは容易ではありません。2分半という限られた時間の中で、全自動ロボットが最大でTシャツ8枚、バスタオル4枚、シーツ1枚を、角をそろえて綺麗に干すことを目指します。この難題に高専生がどのようなアイデアで挑むのか、ご期待ください。

岐阜高専 A チームロボット紹介

電子制御工学科 第4学年 梅村 生成

岐阜高専 A チームのロボット名は乾燥記です。同型の自動ロボット二台で構成されます。ローラーを使用した機構で大きさの異なるタオルとシーツをどちらも角の揃った美しい状態で素早く竿に干します。またロボットより高い竿に洗濯物を干すために2mを超える高さまでユニークに変形し競技をこなします。ロボットの移動制御には自動車の自動運転にも使用されるセンサを使用し、フィールドやロボットのコンディションに左右されることなく、確実に競技をこなします。



岐阜高専 B チームロボット紹介

電子制御工学科 第4学年 西村 駿



岐阜高専 B チームのロボット名はLambdryです。Bチームは、羊をモチーフにしたキャラクターが重機を操縦しているようなロボットの制作を目標としてきました。それぞれのロボットは、ショベルカーと高所作業車の重機に似せたものとなっています。家族を連れて帰ってきたラムちゃんファミリーが重機を操り、一所懸命美しく洗濯物を干していきます。また、バスタオルとシーツを掛ける際のしわが伸びていく光景は気持ちいいものとなっています。ぜひ、かわいらしいラムちゃんたちが連携し洗濯物を干す光景をご覧ください。

